



ふれあい 放水路

2006
(平成18年)
第142号
1月



迎春

**新年あけまして
おめでとーございませう**

平成十八年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、中国地方の西部や九州地方などで大きな水害に見舞われましたが、幸いにも斐伊川水系では大事に至るような災害の発生は免れました。

私も取り組んでおります「斐伊川放水路事業」では神戸川拡幅部で新たな堤防が順次完成し、旧堤防からその役割を順次引き継ぐ段階まで工事が進み、その他護岸や、橋梁架け替えの工事につきましても順調に進んでおります。地域のみなさまをはじめ関係者の方々のご理解とご協力に対し、厚くお礼申し上げます。本年は、引き続き神戸堰の改築、橋梁の架け替えや、護岸・開削部の掘削の工事を進める予定であります。また、「川」と「地域」との接点となる河川の水辺空間について地域の皆様方といっしょに考え、進めていく段階にさしかかってまいります。つきましては引き続き、本事業に対するご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

国土交通省出雲河川事務所長

内藤 正彦

崎屋低水護岸工事の概要について

昨年5月より工事着手した、崎屋地区の低水護岸工事について紹介します。
 施工箇所は、神戸川の右岸側で、新崎屋橋の上下流435mに渡る区間です。この護岸は、**矢板護岸部**と**ワンド部**で構成されているのが特徴です。
 特に、ワンド部は、湾のような形状になっていて、湾の半分から上流は※体験エリア、下流が※保全エリアになっています。完成後は地域の皆様に親しまれるような護岸、自然を保全するような護岸になる予定です。

※体験エリア・・・地域の人々に、川の自然を体験してもらう範囲
 ※保全エリア・・・植生など、従来のような自然環境を復元し、保全する範囲



現場からひとこと

当工事は、平成17年5月から着工し、現在までに約95%が出来上がっています。完成後は、地域の皆様に親しまれるような護岸になる予定です。
 工事期間中は、地域の皆様のご指導ご協力を得ながら、無事工事を終えたいと思っております。



崎屋低水護岸工事現場代理人
加納 博志



着工前

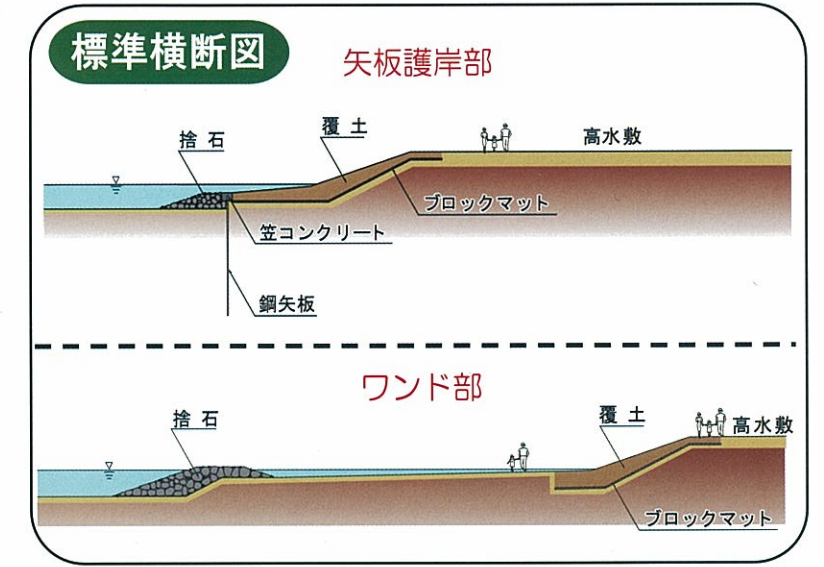


平成17年12月

写真手前の矢板護岸部が完成し、写真奥のワンド部は、捨石・覆土がほぼ出来上がった状態です。



※護岸工事が完成した時の予想図です



作業の流れ

矢板護岸部

矢板を施工し、ブロックマットを施工後、土で覆い、従来のような自然環境を復元します。



バックホウで掘削します。



鋼矢板L=7.5mを打設します。



笠コンクリートを設置します。



捨石を投入します。



クレーンでブロックマットを設置します。



バックホウで土を被せます。

ワンド部

ブロックマットを施工後、土で覆い、水際に浅場を確保して従来のような自然環境を復元します。



バックホウで掘削します。



クレーンでブロックマットを設置します。



バックホウで土を被せます。



捨石を投入し、表面を均します。

斐伊川放水路 この一年

～平成17年の事業を振り返って～

進む神戸堰改築工事

平成16年10月1日に起工式を行って以来、工事は順調に進んでおり、6月に右岸側の施工が完了しました。10月より左岸側の工事に着手し、平成18年6月の左岸側完成に向けて、現在施工中です。



▲右岸側施工完了(平成17年6月)

「1000年の森づくり」植樹祭開催

6月7日と10月15日、出雲市の上塩冶町地内で、「斐伊川放水路1000年の森づくり」植樹祭を開催しました。



毎回ご指導頂いている宮脇昭先生を招いて、植栽方法や手順などを教わりながら、その土地に自生する広葉樹の苗木を植樹しました。10月15日に開催した“秋”の植樹祭には初めて一般参加者を募集し、約350名の皆様と植樹を行い、開削部法面500平方メートルにスタジイ、アラカシなど1,500本の苗木を植樹しました。

順調に進む橋梁工事

放水路の橋梁工事は順調に進んでおり、3月5日に境橋が開通しました。これに伴い、4月より旧境橋の撤去工事に着手し、12月に撤去工事が完了しました。



▲境橋開通式(3月5日)

進む関連工事

平成14年度より、架け替え工事に着手している国道9号神戸橋(松江国道事務所施工)は、今後、取付道路等の周辺工事に着手します。

また、JR山陰本線神戸川橋梁(JR西日本施工)は、平成17年から河川内の架け替え工事に着手し、今後は軌道の切替等の周辺工事に着手します。

放水路ふれあいセンター来場者10,000人突破!

放水路ふれあいセンターへの来場者が遂に10,000人を突破しました。

毎年、2,000人近くの方々にお越し頂いています。

今年は、建設技術講習会の現地見学会で350名の方々が一度に現場を訪れるなど、事業の最盛期を迎え、多くの方々が放水路の現場見学に訪れています。

神戸川現堤防の撤去開始

放水路の完成に向け、平成18年より妙見橋から下流区間において、神戸川の現堤防を撤去し、新しい堤防で洪水を防ぐこととなります。



国土交通省中国地方整備局
出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

メールアドレス E-mail: izumo@info.cgr.mlit.go.jp
ホームページ http://www.izumokasen-mlit.go.jp/

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先: ふれあい放水路担当
放水路推進室 事業対策官